

日本パブリックリレーションズ協会会員誌

# PRsj

PUBLIC RELATIONS  
SOCIETY OF JAPAN

## NEWS

2019 年 12 月号  
NO. 313

### TOPICS

個人会員が活躍する協会へ

(公社)日本パブリックリレーションズ協会 理事 田畑 好崇

MESSAGE P3

「新春PRフォーラム・賀詞交歓会」を来年 1 月 22 日(水)に開催します！

REPORT P4

「PR 手帳 2021(広報マスコミハンドブック 2021 年版)」編集制作パートナー募集

ATTENTION P5

広報・PRスキルアップ実践講座 第 6 回「戦略的企業文化の醸成」

ATTENTION P8

第25回「PRプランナー資格認定検定試験」3次試験申込受付中！

ATTENTION P9

第26回「PRプランナー資格認定検定試験」1次試験申込受付中！

ATTENTION P11

冬の「PRプランナー1次試験対策講座」を開講

ATTENTION P13

公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会

〒106-0032 東京都港区六本木 6 丁目 2 番 31 号 六本木ヒルズノースタワー5F

電話 (03) 5413-6760 ファックス (03) 5413-2147

URL <https://www.prsj.or.jp/>

関西支部 〒530-0003 大阪市北区堂島 2-1-27 桜橋千代田ビル 3F  
電話 (06) 6344-3002 ファックス (06) 6344-3005

発行人: 畔柳 一典

# 12月号 目次

|                      |                                           |      |
|----------------------|-------------------------------------------|------|
| 12月～1月のスケジュール        | —                                         | 1    |
| MESSAGE(メッセージ)       | 個人会員が活躍する協会へ                              | — 3  |
| ATTENTION(お知らせ)      | 「新春PRフォーラム・賀詞交歓会」を来年1月22日(水)に開催します！       | — 4  |
| 〃                    | 「PR手帳2021(広報マスコミハンドブック2021年版)」編集制作パートナー募集 | — 5  |
| 〃                    | 広報・PRスキルアップ実践講座 第6回「戦略的企業文化の醸成」           | — 8  |
| 〃                    | 第25回「PRプランナー資格認定検定試験」3次試験申込受付中！           | — 9  |
| 〃                    | 第26回「PRプランナー資格認定検定試験」1次試験申込受付中！           | — 11 |
| 〃                    | 冬の「PRプランナー1次試験対策講座」を開講                    | — 13 |
| BULLETIN(活動報告)       | 第25回PRプランナー資格認定検定試験 2次試験を11月17日に実施        | — 14 |
| 〃                    | 広報・PR実務講座2019 第3回「新任広報部長講座」を開講            | — 16 |
| 〃                    | 異文化勉強会「アルゼンチン共和国大使館」開催報告                  | — 17 |
| 〃                    | 第23回「広報活動研究会(10月1日)」開催報告(会員限定)            | — 20 |
| REPORT(講演レポート)       | 第203回定例研究会(会員限定)                          | — 21 |
| 関西の風                 | 豊かさとは                                     | — 22 |
| What's New from IPRA | IPRA会長の10月のメッセージ                          | — 24 |
| 協会掲載記事               | PRSJ in Media                             | — 27 |

## 12月～1月スケジュール

|                                                        |                                                                                                                                                                                                |
|--------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 第 45 回スキル研究会                                           | 日 時 : 12 月 9 日(月) 17:30～18:30<br>会 場 : (株)オズマピーアール<br>講 師 : アマゾンジャパン(合) パブリックリレーションズ本部長 金子 みどり氏<br>テーマ : グローバル企業の事例から学ぶ「中長期的な PR 戦略」の描き方                                                       |
| 「PRアワードグランプリ 2019」<br>PRアワードグランプリ表彰式                   | 日 時 : 12 月 10 日(火) 17:00～20:00(予定)<br>会 場 : 時事通信ホール                                                                                                                                            |
| PRプランナー3 次試験対応講座(冬期)                                   | 日 時 : 12 月 11 日(水)、18 日(水)、25 日(水)、<br>1 月 8 日(水)、15 日(水)、20 日(月) いずれも 19:00～21:30<br>会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49                                                                                     |
| 広報・PR実務講座 2019<br>広報・PRスキルアップ実践講座<br>第 5 回「デジタル危機管理」   | 日 時 : 12 月 12 日(木) 19:00～21:00<br>会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49<br>講 師 : 日経BP 日経クロストrend編集 小林 直樹氏<br>テーマ : メディア記者から見る最新「炎上」トレンドと危機対応の巧拙 ～デジタル危機管理における準備や対策、緊急時対応のポイント～                                  |
| 新春PRフォーラム・賀詞交歓会                                        | 日 時 : 1 月 22 日(水) 16:00～20:00<br>会 場 : 国際文化会館「岩崎小彌太記念ホール」「樺山・松本ルーム」                                                                                                                            |
| 広報・PR実務講座 2019<br>広報・PRスキルアップ実践講座<br>第 6 回「戦略的企業文化の醸成」 | 日 時 : 1 月 23 日(木) 19:00～21:00<br>会 場 : 六本木アカデミーヒルズ 49<br>講 師 : (株)ソフィア フィールドリサーチ & コンサルティング事業責任者<br>森口 静香氏<br>テーマ : すべての社員に企業理念とビジョンを浸透させて、自発的な貢献意欲を促すために～社員のエンゲージメントを高める効果的なコミュニケーション手法、施策とは～ |

## 12月～1月の理事会・委員会・部会スケジュール

|          |         |     |                         |             |
|----------|---------|-----|-------------------------|-------------|
| 定例理事会    | (12 月度) | 日 時 | : 12 月 12 日 (木)         | 16:00～17:30 |
|          |         |     | 一般財団法人 産業人材研修センター 霞会館   |             |
|          | (11 月度) | 日 時 | : 1 月 9 日 (木)           | 16:00～17:30 |
|          |         | 会 場 | : 一般財団法人 産業人材研修センター 霞会館 |             |
| 教育委員会    | (12 月度) | 日 時 | : 12 月 16 日 (月)         | 12:30～14:00 |
|          |         | 会 場 | : 協会会議室                 |             |
| 資格委員会    | (12 月度) | 日 時 | : 12 月 26 日 (木)         | 12:00～13:30 |
|          |         | 会 場 | : 協会会議室                 |             |
| 国際・交流委員会 | (12 月度) | 日 時 | : 12 月 23 日 (月)         | 16:30～18:00 |
|          |         | 会 場 | : 協会会議室                 |             |
| 広報委員会    | (12 月度) | 日 時 | : 12 月 19 日 (木)         | 16:00～17:30 |
|          |         | 会 場 | : 協会会議室                 |             |
| 顕彰委員会    | (12 月度) | 日 時 | : 12 月 16 日 (月)         | 15:00～16:30 |
|          |         | 会 場 | : 協会会議室                 |             |
| 企業部会幹事会  | (12 月度) | 日 時 | : 12 月 4 日 (水)          | 17:00～18:30 |
|          |         | 会 場 | : 協会会議室                 |             |
| PR業部会幹事会 | (12 月度) | 日 時 | : 12 月 17 日 (火)         | 16:00～17:30 |
|          |         | 会 場 | : 協会会議室                 |             |

## 個人会員が活躍する協会へ

公益社団法人 日本パブリックリレーションズ協会  
理事 田畑 好崇

企業広報に17年従事し、第一回のPRプランナー資格認定取得を契機に協会活動に携わり、PRプランナー部会の運営など、主にPRプランナー取得者に対する活動に取り組んでまいりました。

PRプランナー資格制度10周年事業では、PRプランナーの皆さんが考える、この先の日本のPRパーソンのあるべき姿を「PRプランナー宣言」として発表しました。改めてここで紹介させていただきます。

☆ ☆ ☆ ☆

いま、社会にはあらゆる情報やコンテンツがあふれ、その流通チャネルも多岐に渡っています。このような環境のもと、正しい情報を多様な価値観をもったステークホルダーに適切に届け、合意形成を図っていくことの重要性は日々高まりつつあります。

我々、PRプランナーは、幅広いスキルと高いコミュニケーション力、倫理観をもって、さまざまな課題をパブリックリレーションズで解決するための知見を有し、この“強み”をより良い社会を築くために役立てていきます。

社会をつなげる、未来を動かす。

私たちはPRプランナーです。

☆ ☆ ☆ ☆

PRパーソンは「合意形成のプロフェッショナルである」というお話を伺ったことがあります。PRプランナーだけでなく、協会に携わる一人一人が、PRパーソンのあるべき姿（倫理観、ビジネスコミュニケーションスキル、PRマインド）を体現できることを願っています。

今回の会員制度改革で新設された個人会員という制度は、個人の方の協会への関与の拡大を期待する側面もあります。PRに携わった方やPRプランナー資格を取得された方が、社内異動や転職、将来的には副業といった形で活躍の場を広げていく中で、企業の枠にとらわれない個人会員の拡大、活躍の場の広がり、社会変化そのものといえるのかもしれませんが。今後は、個人会員に着目した活動により積極的に取り組んでいきたいと思えます。

2020年はオリンピックの年、協会としても40周年の節目を迎えますが、世界中が分断されつつある中、益々パブリックリレーションズ、コミュニケーションの力が必要であり、私たち協会が、社会に対して果たす役割は増していると考えています。発展拡大する協会活動において、その担い手としての個人会員、PRプランナー資格取得者に対する今後の取り組みについて、会員の皆様におかれましても議論を深めていただき、またご理解と協力をお願いしたいと思います。

## 「新春PRフォーラム・賀詞交歓会」を 来年1月22日(水)に開催します！

新年1月22日(水)、恒例の「新春PRフォーラム・賀詞交歓会」を六本木・国際文化会館で開催いたします

第1部は日本PR大賞「パーソン・オブ・ザ・イヤー」「シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式を行い、第2部は作家・元外務省主任分析官の佐藤 優氏が登壇、「北東アジアの地政学的変動と日本外交」と題した特別講演を行います。講演会に引き続き賀詞交歓会を開催いたします。

参加費は8,000円です。お誘いあわせの上、奮ってのご参加をお待ちしています。

1月22日(水)当日のスケジュール(予定)は以下の通りです。

|                  | 時 間         | 内 容                                                 |
|------------------|-------------|-----------------------------------------------------|
| 新春PRフォーラム<br>第1部 | 16:00～17:00 | 「日本PR大賞 パーソン・オブ・ザ・イヤー」<br>「日本PR大賞 シチズン・オブ・ザ・イヤー」表彰式 |
| 新春PRフォーラム<br>第2部 | 17:00～18:00 | 特別講演会<br>講演 佐藤 優氏<br>「北東アジアの地政学的変動と日本外交」            |
|                  | 18:00～18:15 | 質疑応答                                                |
|                  | 18:30～20:00 | 賀詞交歓会                                               |



写真提供 講談社

### 【佐藤 優氏のプロフィール】

作家・元外務省主任分析官

1960年、東京都生まれ、1985年同志社大学大学院神学研究科修了(神学修士)。  
1985年に外務省入省、2002年5月に鈴木宗男事件に連座し、東京地検特捜部に逮捕、起訴され、2009年6月に執行猶予付き有罪確定。外務省失職。2013年6月に執行猶予期間を満了し、刑の言い渡しが効力を失った。

主著『国家の罨』(新潮文庫)

# 「PR手帳 2021(広報マスコミハンドブック 2021 年版)」 編集制作パートナー募集

広 報 委 員 会

PRSJ では、「PR手帳 (広報マスコミハンドブック)」を毎年発行しておりますが、2021 年版発行に当たり、編集制作につき、複数社及び個人によるコンペを実施することとなりました。つきましては、下記実施要項に従い、応募していただけますよう、お願い申し上げます。

## 募 集 要 項

- ◆応募資格 : 日本国内での出版物、PR誌などの編集・制作実績を有する会社、もしくは個人であること。
- ◆実施条件 : ①契約期間：2020 年 2 月 1 日から 2021 年 3 月末までとします。  
②業務内容：日本パブリックリレーションズ協会の「PR 手帳 (広報マスコミハンドブック)」の編集制作 (詳細は別紙をご参照ください)  
※編集・印刷一括の受託をご検討の方は、別途相談に応じます。  
③編集責任者の設置：業務を受託される場合は、必ず編集責任者を決めていただき、広報委員会 PR 手帳ワーキンググループに参加していただきます。なお、編集方針ならびに編集企画は広報委員会での協議に基づくものとします。
- ◆公募期間 : 2019 年 12 月 9 日 (月) ~ 2020 年 1 月 9 日 (木)  
※ 下記項目を記入の上、「PR 手帳編集コンペ申し込み」として事務局にメールまたは FAX してください。  
・会社名  
・部署  
・編集責任者  
・連絡先 (電話番号、e-mail アドレス)
- ◆委託事業者の決定 : ①オリエンテーション：2020 年 1 月 10 (金) に実施予定。ご応募いただいた方に詳細ご連絡いたします。  
②プレゼンテーション：2020 年 1 月 20 日 (月) に実施予定  
(ア)編集制作費の見積 (すべての経費を含みます)  
(イ)編集方針、編集体制等を記した書面 (形式は自由)  
(ウ)編集制作に関する実績を示す書面またはサンプル  
③審査基準：実行性、企画編集能力、適格性、費用の妥当性等により判断致します。
- ◆審査 : 2020 年 1 月 31 日 (金) までに決定、ご参加いただいた社にご連絡いたします。
- ◆お申込み、お問い合わせ先 : 協会事務局 [mail@prsj.or.jp](mailto:mail@prsj.or.jp) / TEL : 03-5413-6760

渡邊、鈴木

## PR手帳 2021（広報マスコミハンドブック 2021 年版）委 託 内 容

### 1. 業務内容

- (1) PR手帳専門部会関係（2020 年 4 月～11 月 部会頻度：月 1 回程度）
  - ・部会出席
  - ・会議資料作成（アジェンダ・議事録等）
  - ・企画書作成（Keyword・用語ミニ辞典関係等）
  - ・ヒアリング
- (2) 原稿依頼、取材／確認作業
  - ・原稿執筆者への原稿依頼（chapter 3 以外の各項目）
  - ・取材・ライティング（用語ミニ辞典）
  - ・執筆者・取材先への原稿確認
- (3) データ作成  
昨年のデータをベースに内容のアップデート・掲載確認
  - ・chapter 3 企業・公社・団体・官公庁への掲載確認作業（2,000 件程度）
  - ・Fact Data の情報調査・アップデート
  - ・カレンダーの内容調査・アップデート
- (4) 図表データ作成
  - ・Keyword・Fact Data の図表作成
- (5) 制作管理／ディレクション ゲラチェック及び校正・校閲
  - ・スケジュール管理
  - ・全体の制作ディレクション
  - ・DTP オペレーション
  - ・校正・校閲作業
  - ・DTP データ納品

### 2. ご参考：PR手帳項目（2020 年版）

- (1) chapter1 TREND
  - ・「今」を読み解く Keyword
  - ・パブリックリレーションズの新たな潮流と可能性
  - ・知っておきたい Fact Data
- (2) chapter2 PUBLIC RELATIONS
  - ・パブリックリレーションズとは
  - ・広報・PR 実務に役立つチェック＆フロー
  - ・PR・IR 用語ミニ辞典
  - ・PR関係団体
  - ・企業関連の文化施設／オープンハウス
- (3) chapter3 ADDRESS
  - ・新聞
  - ・テレビ局／ラジオ局
  - ・新聞社・通信社・テレビ局の部・局
  - ・雑誌
  - ・業界別専門紙（誌）



- ・フリーペーパー・フリーマガジン
- ・インターネットサイト
- ・海外メディア
- ・記者クラブ
- ・官公庁
- ・各種団体
- ・外国関連各種団体
- ・専門の情報源
- ・イベント会場

(4) chapter4 PRSJ

- ・公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 概要
- ・公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 会員名簿
- ・2020 年 記念日カレンダー

## 2. ご参考：PR手帳項目（2020 年版）

(1) chapter1 TREND

- ・「今」を読み解く Keyword
- ・パブリックリレーションズの新たな潮流と可能性
- ・知っておきたい Fact Data

(2) chapter2 PUBLIC RELATIONS

- ・パブリックリレーションズとは
- ・広報・PR実務に役立つチェック＆フロー
- ・PR・IR 用語ミニ辞典
- ・PR関係団体
- ・企業関連の文化施設／オープンハウス

(3) chapter3 ADDRESS

- ・新聞
- ・テレビ局／ラジオ局
- ・新聞社・通信社・テレビ局の部・局
- ・雑誌
- ・業界別専門紙（誌）
- ・フリーペーパー・フリーマガジン
- ・インターネットサイト
- ・海外メディア
- ・記者クラブ
- ・官公庁
- ・各種団体
- ・外国関連各種団体
- ・専門の情報源
- ・イベント会場

(4) chapter4 PRSJ

- ・公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 概要
- ・公益社団法人日本パブリックリレーションズ協会 会員名簿
- ・2020 年 記念日カレンダー

## 広報・PR実務講座 2019

## 広報・PRスキルアップ実践講座 第6回「戦略的企業文化の醸成」 「すべての社員に企業理念とビジョンを浸透させて、 自発的な貢献意欲を促すために」

教 育 委 員 会

協会では来る1月23日、「広報・PRスキルアップ実践講座」第6回として、企業文化の醸成をテーマとする講座「すべての社員に企業理念とビジョンを浸透させて、自発的な貢献意欲を促すために～社員のエンゲージメントを高める効果的なコミュニケーション手法、施策とは～」を六本木アカデミーヒルズ49で開講いたします。

経済のグローバル化、IoTの高度化などを背景に、企業は国境を越える激しい市場競争にさらされる時代を迎えました。いまや企業が他社に対する持続可能な競争優位を保つためには、時代を見据えた適切な経営戦略のもとに、会社と従業員が一体なり相互に貢献できる強い組織が不可欠です。

強い組織の形成にはいかに従業員エンゲージメントを高めるかが重要課題であり、この課題への取組みには、企業の理念やビジョン、行動規範を全従業員に浸透させていくインターナル・コミュニケーション戦略が必要不可欠です。エンゲージメントの高い組織では会社と従業員が相互に理解し信頼感のある関係を生み出し、従業員個一人ひとりが主体的に考え行動し自発的な貢献意欲が促されます。このような風土が継承され優れた企業文化として定着することは、経営的にも大きな成果を生み出すことにつながるのです。すなわち、インターナル・コミュニケーションの戦略的な推進は、優れた企業文化を醸成し、企業の持続的成長を担保する重要な役割を果たします。

本講座では、インターナル・コミュニケーション施策の提案をはじめ企業への支援に豊富な実績のある(株)ソフィアのフィールドリサーチ&コンサルティング事業責任者 森口静香氏をお招きします。同氏には、社内交流を活性化させグループビジョンの浸透を実現している西武ホールディングス様をはじめ、同社が手掛けた多彩な取組みに関し実例を交えてご紹介いただきます。

これからのインターナル・コミュニケーション、社員エンゲージメントを考える企業の広報・PR担当者のみなさまの受講をお待ちいたします。

<https://prsj.or.jp/event/skillup-corpulture/>

(事務局・真部)

### 「マーケティングPR」講座を開講



協会では、11月13日に「広報・PRスキルアップ実践講座」第4回の「『見出し』から考える。広報基点の『共感』マーケティングPR」を、六本木アカデミーヒルズ49にて開講しました。

講師には株式会社ローソン コミュニケーション本部副本部長広報室室長 楯 美和子氏をお招きしました。2時間にわたる講義では、ローソンが展開してきた様々なPR事例を取り上げ、その背後にある考え方や工夫について、失敗談なども交えながら紹介されました。日常的なPRの取組みについて率直に語る楯氏の講義は多くの受講者の好感を集め、講義の終了時には、途切れることのない長い拍手が続きました。

## PRプランナー資格認定制度／検定試験

## 第25回「PRプランナー資格認定検定試験」

## 3次試験申込受付中！試験日は2020年1月25日(土)

※会場の都合により、定員に達した場合は、予定日より早く締め切りとさせていただきます。

## 資格委員会

第25回となるPRプランナー資格認定検定試験3次試験（試験日：2020年1月25日(土)、試験会場：東京）の申込みを12月2日から受付開始しております。

日本パブリックリレーションズ協会が認定する「PRプランナー資格認定制度」は、広報・PRの業務に求められる専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の資格制度です。検定試験は1次から3次にわたり、書類審査を経て、広報・PRに関する高い専門能力の保有を認定する「PRプランナー」資格を取得することができます。本制度は2007年に発足し、すでに24回の試験を実施。難関を突破し資格を取得した2,755名(11月8日現在)のPRプランナーが、一般企業、PR会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験申込期間は、2019年12月26日(木)までとなっております。**会場の都合により、定員に達した場合は、予定日より早く締め切りとさせていただきます。**お早目のお申し込み、受験料のご入金をお願い致します。

## ＜PRプランナー資格認定制度／検定制度 3次試験 実施概要＞

|        |                                                                                                                                                                                                                                               |
|--------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 試験日    | 2020年1月25日(土)                                                                                                                                                                                                                                 |
| 受験申込期間 | 2019年12月2(月)～2019年12月26日(木)<br>※会場の都合により、定員に達した場合は、予定日より早く締め切りとさせていただきます                                                                                                                                                                      |
| 試験会場   | 東京会場：富士通ラーニングメディア 品川ラーニングセンター                                                                                                                                                                                                                 |
| 受験申込方法 | 受験申込から可否通知までの手順は次の通りとなります。<br>①受験種別と受験料をご確認ください<br>②受験料をお振込みください<br>③画像データをご用意ください<br>④PRプランナー資格制度 Web サイトにアクセスします<br>⑤受験申込フォームに入力<br>入力内容：氏名、受験種別、試験会場、受験票・可否発送先住所、生年月日、メールアドレス、受験料の振込日と振込人名、等<br>アップロード内容：受験者ご本人の写真データ<br>⑤入力確認画面を経て、受験申込完了 |
| 受験票送付  | 2020年1月17日(金) 発送                                                                                                                                                                                                                              |
| 可否通知送付 | 2020年2月18日(火) 発送<br>・申込フォームにご記入いただいたご住所に、可否通知を発送いたします。<br>・合格された方には、PRプランナー認定申請のご案内を、メールでも2月19日(水)にお送りします。                                                                                                                                    |

※資格検定試験の詳細は、下記URLのPRプランナー資格制度 Web サイトをご覧ください。



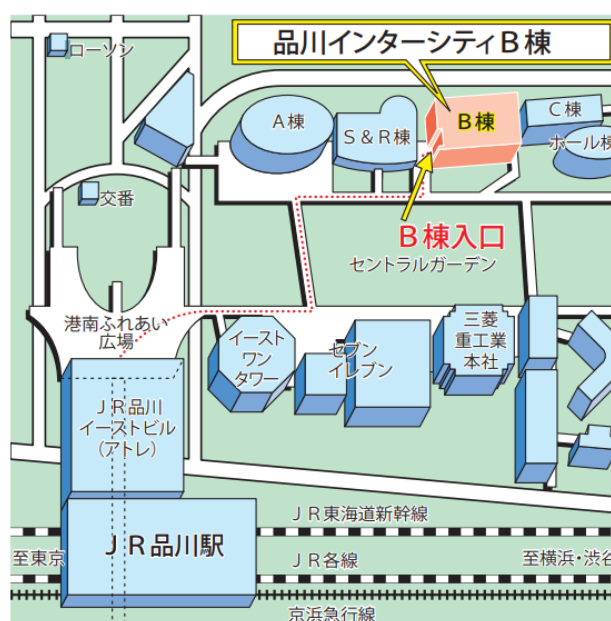
<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>

<試験時間>

|             |                  |
|-------------|------------------|
| 1 2 時 0 0 分 | 各試験会場に入館できます     |
| 1 2 時 2 5 分 | 指定の教室・座席にご着席ください |
| 1 2 時 3 0 分 | 注意事項伝達・試験問題配布    |
| 1 3 時 0 0 分 | 試験開始             |
| 1 6 時 0 0 分 | 試験終了             |

<試験会場>

富士通ラーニングメディア 品川ラーニングセンター  
東京都港区港南 2-15-2 品川インターシティ B 棟 12 階



J R 品川駅港南口(東口)を出て徒歩 約10 分、新幹線 品川駅北口あるいは南口から徒歩約10分  
※ J R 改札を出て教室まで約 15 分かかります。  
※ エレベーターで 12 階までお越しください。

## PRプランナー資格認定制度／検定試験

## 第26回「PRプランナー資格認定検定試験」

## 1次試験申込は12月1日(日)から受付！

－ 試験日は2020年3月1日(日) －

資格委員会

第26回となるPRプランナー資格認定検定試験1次試験（試験日：2020年3月1日(日)、試験会場：東京・大阪・福岡の3会場）の申込みを12月2日から受付開始します。

日本パブリックリレーションズ協会が認定する「PRプランナー資格認定制度」は、広報・PRの業務に求められる専門的な知識やスキル、職能意識等を検定し資格として認定する、公益法人としてわが国唯一の資格制度です。検定試験は1次から3次にわたり、書類審査を経て、広報・PRに関する高い専門能力の保有を認定する「PRプランナー」資格を取得することができます。本制度は2007年に発足し、すでに24回の試験を実施。難関を突破し資格を取得した2,755名（11月8日現在）のPRプランナーが、一般企業、PR会社、政府機関や自治体等で活躍しています。

受験申込期間は、2020年1月24日（金）までとなっておりますので、皆様のまわりにPRプランナー資格の取得を目指される方がいらっしゃいましたら、本試験についてご紹介ならびにご推奨を賜れば幸いに存じます。

## &lt;PRプランナー資格認定制度／検定制度 1次試験 実施概要&gt;

|        |                                                                                                                                                                                                                                                                                      |
|--------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 試験日    | 2020年3月1日（日）<br>試験は3月1日（日）午前中に実施・終了する予定です                                                                                                                                                                                                                                            |
| 受験申込期間 | 2019年12月1日（日）～2020年1月24日（金）                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 試験会場   | 東京・大阪・福岡の3会場                                                                                                                                                                                                                                                                         |
| 受験申込方法 | <p>受験申込から可否通知までの手順は次の通りとなります。</p> <p>①受験種別と受験料をご確認ください</p> <p>②受験料をお振込みください</p> <p>③画像データをご用意ください</p> <p>④PRプランナー資格制度 Web サイトにアクセスします</p> <p>⑤受験申込フォームに入力</p> <p>入力内容：氏名、受験種別、試験会場、受験票・可否発送先住所、生年月日、メールアドレス、受験料の振込日と振込人名、等</p> <p>アップロード内容：受験者ご本人の写真データ</p> <p>⑤入力確認画面を経て、受験申込完了</p> |
| 受験票送付  | 2020年2月14日（金）発送                                                                                                                                                                                                                                                                      |
| 可否通知送付 | <p>2020年3月13日（金）発送</p> <p>・受験申込書にご記入いただいたご住所に、可否通知を発送いたします。</p> <p>・合格された方には、2次試験ならびにPRプランナー補認定申請のご案内を、メールでも3月16日（月）にお送りします。</p>                                                                                                                                                     |

※資格検定試験の詳細は、下記URLのPRプランナー資格制度 Web サイトをご覧ください。

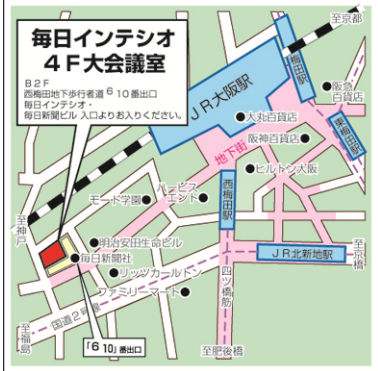


<https://pr-shikaku.prsj.or.jp/>

<試験時間>

|             |                  |
|-------------|------------------|
| 0 9 時 3 0 分 | 各試験会場に入館できます     |
| 1 0 時 2 0 分 | 指定の教室・座席にご着席ください |
| 1 0 時 2 5 分 | 注意事項伝達・試験問題配布    |
| 1 0 時 4 0 分 | 試験開始             |
| 1 2 時 0 0 分 | 試験終了             |

<試験会場>

| 東京会場<br>東洋学園大学<br>本郷キャンパス<br>文京区本郷 1-26-3                                                                | 大阪会場<br>毎日インテシオ<br>大阪市北区梅田 3-4-5                                                    | 福岡会場<br>AQUA 博多<br>福岡市博多区中洲 5-3-8                                                    |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------|
|                        |  |  |
| <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR線、都営三田線「水道橋駅」徒歩7分</li> <li>・丸ノ内線、都営大江戸線「本郷三丁目駅」徒歩4分</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・JR大阪駅から西梅田地下歩行者道を通り、徒歩約15分</li> </ul>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・地下鉄空港線「中洲川端駅」徒歩4分</li> </ul>                 |



## 広報・PR実務講座 2019

# 冬の「PRプランナー1 次試験対策講座」を開講 ～PRプランナー資格取得への登竜門～

教 育 委 員 会

協会では、来る1月29日から、PRプランナー1次試験の受験者を主な対象とする「PRプランナー1次試験対策講座」を開講いたします。

PRプランナー資格取得の第1関門となる「PRプランナー1次試験」は、広報・PRに関する基本的な知識を50問の問題で検定する試験であり、合格のためには広報・PRにかかわる基礎的な内容について系統的な理解が必要です。基礎的とはいえ幅広い知識を習得することは、受験者にとって容易ではありません。



本講座では、広報・PRについての専門的な知識を備え、自らもPRプランナー資格を取得したベテラン講師が試験分野を平易に解説します。4回の講義をとおして受講者は合格に必要な知識を効率的に習得することができます。また、試験の概要や試験の進め方などについて理解を深め、受験対策を効果的に行うことができます。

なお、会場参加が難しい皆様を対象に、インターネットを活用したWeb受講サービスを提供します。会場受講に参加が難しい遠隔地に居住の方、日々の業務でご多忙な方もWeb受講により、時と場所を選ばずご自身の都合にあわせて講座を受講し、受験準備を進めることができます。このWeb受講サービスは会場受講の皆様もご利用いただくことができ、業務等の都合により出席できなかった講座も、ご自身の都合にあわせてWeb受講することが可能です。

本講座は1次試験受験の対策・準備として、また広報・PRを基礎から体系的に学びたい方に最適です。詳細ならびに受講申込については、以下URLのWebページをご参照ください。

<https://prsj.or.jp/event/1st-2019winter/>

## ■PRプランナー1次試験対策講座(冬期)の概要

| 日 程                         | 講 座 内 容                                                                                                                                       | 講 師                                      | 受講料                                                                | 申込締切                                  |
|-----------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------|---------------------------------------|
| 1月29日<br>(水)<br>19:00～21:30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■広報・PRの基本</li> <li>■企業経営と広報・PR</li> <li>■広報・PR活動のマネジメント</li> </ul>                                     | 株式会社井之上パブリックリレーションズ<br>戦略企画部部長<br>横田和明氏  | <b>会場受講＋Web受講</b><br>一般 33,000 円<br>学生 19,800 円<br>協会会員社員 22,000 円 | <b>会場受講＋Web受講</b><br>1月27日(月)まで       |
| 2月4日<br>(火)<br>19:00～21:30  | <ul style="list-style-type: none"> <li>■コミュニケーションの基礎理論</li> <li>■マーケティングの基礎理論</li> <li>■マーケティングと広報・PR</li> <li>■ブランドの基礎理論</li> </ul>          |                                          |                                                                    |                                       |
| 2月12日<br>(水)<br>19:00～21:30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■メディアリレーションズ</li> <li>■IR(インベスターリレーションズ)</li> <li>■インターナル・コミュニケーション</li> <li>■CSR(企業の社会的責任)</li> </ul> | 株式会社エイレックス<br>危機管理広報コンサルティング部長<br>畑山 純 氏 | <b>Web受講のみ</b><br>一般 22,000 円<br>学生 19,800 円<br>協会会員社員 22,000 円    | <b>Web受講</b><br>講座開講後も2月21日(金)まで受付けます |
| 2月19日<br>(水)<br>19:00～21:30 | <ul style="list-style-type: none"> <li>■危機管理広報</li> <li>■グローバル広報</li> <li>■行政・団体等の広報・PR</li> </ul>                                            |                                          |                                                                    |                                       |

日本PR協会会員社員の受講料は、法人正会員社員、もしくは個人正会員ご本人様のみとなります。

(事務局・真部)

## 第 25 回PRプランナー資格認定検定試験 2 次試験を 11 月 17 日に実施 東京・大阪・名古屋で、384 名の受験者が挑戦！

資格委員会

11 月 17 日（日）、第 25 回 P R プランナー資格検定 2 次試験が東京（TKP 渋谷カンファレンスセンター）、大阪（毎日インテシオ）、名古屋（TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター）で行われました。今回の 2 次試験では、東京会場：356 名、大阪会場：49 名、名古屋：18 名の合計 423 名が受験申込をされ、当日は 384 名（東京会場：322 名、大阪会場：45 名、名古屋：17 名）の受験者が受験し、そのうち 370 名（東京会場：311 名、大阪会場：43 名、名古屋：16 名）が合格されました。また、今回の 2 次試験の合格率は 96.4%となりました。

今回も無事終了することができました。ご協力いただきました関係者の皆様には、厚くお礼申し上げます。

なお、今回の 2 次試験の受験者および合格者・合格率は以下の通りです。

< 第 25 回 科目別 正答率 65%以上 >

科目 A：企業経営と広報・PR に関する知識

受験者 384 名、正答率 65%以上 354 名、達成率 92.2%

科目 B：マーケティングと広報・PR に関する知識

受験者 384 名、正答率 65%以上 324 名、達成率 84.4%

科目 C：コミュニケーションと広報・PR に関する実務知識

受験者 384 名、正答率 65%以上 373 名、達成率 97.1%

科目 D：時事問題

受験者 384 名、正答率 65%以上 355 名、達成率 92.4%

< 第 25 回 2 次試験合格率 >

受験者 384 名、合格者 370 名、合格率 96.4%

※上記「科目別 正答率 65%以上」の人数は、2 次試験合格基準となる「出題数に対して正答率 65%以上」を満たした人数となり、達成率は、全体での割合として記載しております。



東京会場：TKP 渋谷カンファレンスセンター



## ■第25回2次試験(2019年11月17日) 合格率・受験者プロフィール

|              | PR業/<br>PR関連業  | 一般企業<br>(広報PR関連) | 一般企業<br>(その他) | 各種団体          | 教育機関         | 自治体          | 学生            | その他            | 全体               |
|--------------|----------------|------------------|---------------|---------------|--------------|--------------|---------------|----------------|------------------|
| 受験者<br>(全体比) | 84名<br>(21.9%) | 182名<br>(47.4%)  | 34名<br>(8.9%) | 13名<br>(3.4%) | 6名<br>(1.6%) | 7名<br>(1.8%) | 18名<br>(4.7%) | 40名<br>(10.4%) | 384名<br>(100.0%) |
| 合格者<br>(全体比) | 80名<br>(21.6%) | 179名<br>(48.4%)  | 32名<br>(8.6%) | 13名<br>(3.5%) | 6名<br>(1.6%) | 7名<br>(1.9%) | 14名<br>(3.8%) | 39名<br>(10.5%) | 370名<br>(100.0%) |
| 合格率          | 95.2%          | 98.4%            | 94.1%         | 100.0%        | 100.0%       | 100.0%       | 77.8%         | 97.5%          | 96.4%            |

|              | 20代             | 30代             | 40代以上           | 全体               |
|--------------|-----------------|-----------------|-----------------|------------------|
| 受験者<br>(全体比) | 122名<br>(31.8%) | 160名<br>(41.7%) | 102名<br>(26.6%) | 384名<br>(100.0%) |
| 合格者<br>(全体比) | 111名<br>(30.0%) | 159名<br>(43.0%) | 100名<br>(27.0%) | 370名<br>(100.0%) |
| 合格率          | 91.0%           | 99.4%           | 98.0%           | 96.4%            |

| 受験者  | 合格者  | 合格率   |
|------|------|-------|
| 384名 | 370名 | 96.4% |

## ■2次試験累計(第1回～第25回) 合格率・受験者プロフィール

|              | PR業/<br>PR関連業    | 一般企業<br>(広報PR関連) | 一般企業<br>(その他)  | 各種団体           | 教育機関           | 自治体            | 学生             | その他            | 全体                |
|--------------|------------------|------------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|----------------|-------------------|
| 受験者<br>(全体比) | 1781名<br>(29.3%) | 2538名<br>(41.8%) | 587名<br>(9.7%) | 130名<br>(2.1%) | 136名<br>(2.2%) | 153名<br>(2.5%) | 305名<br>(5.0%) | 445名<br>(7.3%) | 6075名<br>(100.0%) |
| 合格者<br>(全体比) | 1368名<br>(28.9%) | 2039名<br>(43.1%) | 455名<br>(9.6%) | 105名<br>(2.2%) | 117名<br>(2.5%) | 129名<br>(2.7%) | 165名<br>(3.5%) | 354名<br>(7.5%) | 4732名<br>(100.0%) |
| 合格率          | 76.8%            | 80.3%            | 77.5%          | 80.8%          | 86.0%          | 84.3%          | 54.1%          | 79.6%          | 77.9%             |

|              | 20代              | 30代              | 40代以上            | 全体                |
|--------------|------------------|------------------|------------------|-------------------|
| 受験者<br>(全体比) | 1940名<br>(31.9%) | 2584名<br>(42.5%) | 1551名<br>(25.5%) | 6075名<br>(100.0%) |
| 合格者<br>(全体比) | 1371名<br>(29.0%) | 2062名<br>(43.6%) | 1299名<br>(27.5%) | 4732名<br>(100.0%) |
| 合格率          | 70.7%            | 79.8%            | 83.8%            | 77.9%             |

| 受験者   | 合格者   | 合格率   |
|-------|-------|-------|
| 6075名 | 4732名 | 77.9% |

## 広報・PR実務講座 2019

## 第3回「新任広報部長講座」を開講

### ～新任の広報部門上級管理職を対象とする専門研修～

教 育 委 員 会

11月12日、協会では、新任の広報部門・上級管理職を対象とする第3回「新任広報部長講座」を、東京・内幸町の日本記者クラブで開講しました。

「新任広報部長講座」は、着任から間もない広報部門の上級管理職を受講対象として特化し、上級管理職として就任後に直面する数々の悩みについて共有しながら講師とともに解決策を探る研修講座です。今年は受講者として、事業会社において広報部長職に就かれた11名が参加されました。



今回の講師として、事業会社からNEC コーポレートコミュニケーション本部本部長の飾森亜樹子氏、日本マイクロソフト株式会社 業務執行役員 コーポレートコミュニケーション本部本部長 岡部一志氏、またメディアから読売新聞東京本社 社長直属 教育ネットワーク事務局 事務局本部長 岡部匡志氏、そして法曹界からTMI 総合法律事務所 パートナー弁護士 中村勝彦氏の4名が登壇されました。講座の進行を担い発言のポイントを引き出すモデレーターには、凸版印刷株式会社 広報本部本部長の緒方宏俊氏が担当されました。

最初の講演には、NECの飾森氏が登壇。NECの広報体制や機能の紹介を皮切りに、企業の変革に向けた経営の本気度と思いに関しメディアを通じて社内外に示すコミュニケーション活動の実際、そしてその重責を担う広報本部長の取組みについて熱く語られました。

続いて、日本マイクロソフトの岡部氏が「グローバル企業における広報マネジメントのポジショニングとオペレーション」をテーマに、同社における広報責任者の役割、業務オペレーション、トップコミュニケーションの重要性、広報業務の改革を紹介、ユニークな取組みや新任広報部長への率直な提言は、受講者の関心を大きく惹いたようでした。

3番目の講演は、読売新聞社の岡部氏が担当。「取材する側、される側～メディアと広報部長 より望ましい関係とは」をテーマに、社会部記者と読売巨人軍の広報担当という、メディアと広報の双方を経験した立場から、それぞれの仕事のポイントについて解説されました。なかでも巨人軍の広報時代に経験した有名選手のエピソードは、受講者の関心を集めました。

最後に登壇したTMI 総合法律事務所の中村勝彦弁護士からは、「企業の危機管理と広報部長の役割」をテーマとして広報部長として周知しておくべき法的知識、法的問題の考え方について、事例を交えわかりやすく紹介されています。

講義の終了後は講師を交え懇親会を開催、講師と受講者、受講者相互のコミュニケーションに花が开きました。名刺交換から始めお互いの体験交換など話の輪も広がり、交流の輪が広がる和やかな雰囲気の中で本講座は閉幕しました。

単なる実務スキルではなく広報部門の上級管理職としてマネジメントスキルの習得を目的として開催された本講座。受講者はマネジメントとしての新たな気づきを得たようでした。

(事務局・真部)

## 異文化勉強会 「アルゼンチン共和国大使館」開催報告

— 国際・交流委員会 —

国際・交流委員会では、世界の様々な地域の大使館を訪問し、歴史、経済、文化を学びながら、大使館の方々および会員同士の交流を行う、異文化勉強会を開催しています。

今回の異文化勉強会は、2019年11月5日に晴れ渡る秋空のもと、アルゼンチン共和国大使館で開催され、定員満員の40名の会員の皆様にご参加いただきました。港区元麻布に位置するアルゼンチン大使館は、場所柄とても落ち着いた静かな場所で、大使館が今回のイベントのために開放してくださったゲストフロアのベランダからは、オレンジ色に輝く東京タワーと共に宝石箱のような東京のビル群の美しい夜景が目の前に広がりすぐ手に届くようでした。

昨年日本との外交樹立120周年を迎えたアルゼンチン共和国は、古くから日本との結びつきが強く、日系移民が多い中南米の国としてもよく知られています。2016年には日本からアルゼンチンへの移民開始130周年を迎えているほか、現在、中南米諸国の中でアルゼンチンの日系社会は3番目に大きく、日系アルゼンチン人は第6世代にわたり計65,000人に達していると言われています。

今回のイベント参加者はアルゼンチンを代表する数々のアーティストの作品が飾られた大使館3階にある広々としたゲストフロアに案内され、なごやかな雰囲気のもと、最初にアラン・ペロー、アルゼンチン共和国特命全権大使が登場され、ご挨拶いただきました。

大使からは、昨年両国間の外交樹立120周年を迎え、また、2016年には日本からアルゼンチンへの移民開始130周年を迎えるなど、長年にわたる両国の良好な外交関係についてご説明があり、さらに、両国間では、ビジネス面での交流も盛んであり、その分野は工業、農業、インフラ、物流、輸送、再生可能エネルギー、石油、シェールオイル、ガス、鉱業、水資源など多岐に渡ることにも触れられました。今回のようなイベントを通じて、両国間の交流がさらに加速され、さらに良好な外交関係が確立されることを期待されておられると述べられました。



続いては、アルゼンチン共和国大使館、文化・観光ご担当のマティアス・バビーノ公使より、アルゼンチンの観光の魅力に光をあてたプレゼンテーションが行われました。世界三大瀑布のイグアスの滝、太陽が降り注ぐサルタやフワイの高地、アンデス山脈で育まれる高品質のアルゼンチンワイン、メンドーサの高い山の上に広がる空、広大なパンパで馬を率いる gaucho、風光明媚なバリローチェやアンデス山脈南部に広がる湖水郡、パタゴニアの青い氷河、クジラやペンギン、世界の果てフエゴ島の美しさ、



タンゴの発祥の地でもあり「南米のパリ」と称される美しい首都ブエノスアイレス、世界三大劇場のコロン劇場でのオペラ、演劇、サッカーなど、数えきれないアルゼンチンの観光素材の豊富さ、そしてその魅力についてお話をしました。

アルゼンチンについて色々と学んだあとは、アルゼンチンワインを傾けながら、アルゼンチンタンゴショーの鑑賞です。先ほどまでのプレゼンテーションの場所が一転してダンスフロアーに早変わりし、2007年アルゼンチンタンゴダンス世界選手権アジア大会チャンピオンで、その重厚かつエレガントな踊りで世界のファンを魅了している、サエ&ファン・カルロスのペアによるミニタンゴショーが行われました。その本場のアルゼンチンタンゴダンスに参加者の目はくぎ付けで、タンゴショーの最後にはお二人に大きな拍手が送られました。



アルゼンチンタンゴの後は、ビュッフェ形式でのお待ちかねのアルゼンチン料理を味わいながらの交流会に。

ゲストフロアーの外の広いベランダにあるグリルからは、すでにアルゼンチン産のお肉のBBQアサードの香ばしい香りが漂います。アルゼンチンのソウルフード、チョリソーや、ミートパイのエンパナーダ、お肉のBBQのアサード、とても甘くて美味しいデザート「ドゥルセ・デ・レチェ」などのお食事をアルゼンチンを代表するワイン種「マルベック」と一緒に味わいながら、大使館の皆様や参加者同士でにぎやかなひとときを過ごしました。



今回、お力添えいただきましたアルゼンチン共和国大使をはじめ、大使館の皆様の心温まるホスピタリティに心より感謝申し上げます。今回のイベントでは、PRSJ会員の皆様から「アルゼンチンのファンになった」、「アルゼンチンにぜひ行ってみたい」などアルゼンチン共和国に対する数多くの好意的な声も聞かれました。微力ながらも両国の交流に少しでも貢献できたのではと委員会一同自負いたしております。



アルゼンチン共和国大使館では、オフィシャルウェブサイトに加えて、フェイスブックやインスタグラムなどの SNS などを活用し、積極的にアルゼンチンについての情報発信をしております。下記のインスタグラムでも今回のイベントをすでにアップされているので、ぜひご覧頂き、フォローもよろしくお願いいたします。

[@japon.embajada.gob.ar/](https://www.facebook.com/ArgJapon/)

<https://www.facebook.com/ArgJapon/>

今後も、国際・交流委員会では他の国の文化や歴史に触れる魅力あるイベントを企画してまいります。ぜひご期待ください。

文責：永田 浩二(ユナイテッド航空会社)

## 会 員 限 定

第 23 回「広報活動研究会（10 月 1 日）」開催報告  
「寺田倉庫訪問～TERRADA に学ぶ～」

企 業 部 会

企業部会では、協力企業の施設を見学しコーポレートコミュニケーションを体感することを通じて、広報活動（機能、組織、運営体制）の実際を学ぶことを目的とした広報活動研究会を開催しています。去る 10 月 1 日（火）に、寺田倉庫株式会社（以下、寺田という）を訪問しました。実際の倉庫を見学させていただくだけでなく、事業画材ラボ「PIGMENT TOKYO」、「建築倉庫ミュージアム」を見学させていただくとともに、寺田倉庫の歴史、大胆な変革、そして時を経て価値を高めるモノを預かり価値を高める戦略と広報活動の実際について執行役員の脇山亜希子氏にレクチャーしていただきました。参加者は見学&レクチャー30名、懇親会21名。





**会 員 限 定**

第203回定例研究会

**朝日新聞社 経済部がめざすこれからの経済報道  
～メディア展開の方向性と広報担当者への期待～**

**講 師:朝日新聞東京本社  
経済部長  
寺光太郎氏**

第203回定例研究会（10月度）は、10月15日（火）、A P東京八重洲通りで開催しました。講師は朝日新聞東京本社 経済部長 寺光太郎氏。テーマは「朝日新聞社 経済部がめざすこれからの経済報道～メディア展開の方向性と広報担当者への期待～」当日の参加者は60名でした。





## ＜コラム関西の風＞

### 豊かさとは

西日本高速道路株式会社  
広報 CS 推進部  
次長兼課長 長野敦

#### 《エスカレーターの乗り方》

今年、「エスカレーター乗り方改革」が話題になっているが、大阪で2列に並んでいる様子は見かけられない。この取り組みには様々な意見があるようだが、片側を開ける場合、エスカレーターのどちら側に立つのかは、大阪（右）と東京（左）の違いの代表例としてよく挙げられ、私自身も自然と右に立つ（急いでいるときは左側を歩く）習慣がついている。距離は近いものの京都は左であり、大阪との文化の違いの表れだろうか。大阪以西は左というわけでもなく、日本では圧倒的少数の右側派が、世界的には米国、中国、韓国をはじめ、多数派のようであり、インバウンドの多い大阪でも不思議と外国の方にエスカレーターの左側を塞がれている様子はほとんど見かけない。たまにエスカレーターの隣に階段もある場所があるが、急ぐ人は階段を使うという選択をすることで、狭いエスカレーターの左側よりもずっとスムーズな通行を手に入れている。

何かの記事で「豊かな社会」とは“選択の幅のある社会”であると、読んだことがある。エスカレーターと階段を選択できるというのは、豊かだからであり、同様の選択は、道路にも当てはまる。一般道に加えて高速道路があれば、より早く快適にという選択肢に加え、様々なストック効果（※）も期待できる。高速道路のストック効果について、高速道路会社の人間としてはご紹介したいところではあるが、せっかく頂いた紙面をそれだけで使ってしまうのは勿体ないので、ぜひネットで検索して頂きたい。

#### ※ストック効果とは

整備された社会資本が機能することによって、整備直後から継続的に中長期にわたり得られる安全・安心効果、生活の質の向上効果、生産性向上効果など

#### 《豊かな選択肢》

さて、大阪と東京を移動する場合、一般的には新幹線か航空機だが、高速バスや青春18キップの利用も可能である。このような選択肢を選べるのが、「豊かな社会」の証である。さらに、将来リニアが大阪まで開通すれば、選択肢が増えることになる。

しかし、新幹線、航空機利用のかなりの部分がリニアにシフトし、本数あるいは便数が大幅に減ることが想定される。ただし、「のぞみ」が大幅に減ると、これまで途中で「のぞみ」に追い抜かれていた「ひかり」、「こだま」の所要時間が大幅短縮されるため、利便性低下は限定的になるかもしれない。問題は航空機である。リニアで東京ー大阪が約1時間で結ばれると、アクセスも含めて時間的にはリニアが圧倒的に有利であり、東京ー大阪便が無くなる可能性も否定できない。

航空機が苦手な方や富士山などの車窓の景色を見たい人は新幹線、空港に送迎してもらえる人や空からの景色を見たい人は航空機、とにかく移動時間を短くしたい人はリニア、朝から夜までたっぷり観光したい人は夜行バスなど、所要時間やコストなどを個人が判断、選択可能であることは、心の豊かさにも繋がるのではないかな。

選択肢が多くあることは望ましいが、リニア開通後に航空機が生き残れる可能性は低いかもしれない。仮に生き残っても50人乗りぐらいのプロペラ機になったら、揺れが嫌な人の選択肢からは外れるかもしれない。もし、発着枠をLCCが使えるとしたら、「豊かな」選択肢となる可能性も残されている。

#### 《インフラは東京に軍配》

まず、空港アクセスを比較してみると、羽田がモノレール、京急、リムジンバスがあり、さらに羽田空港アクセス線整備が動き出した。一方、伊丹はモノレールとリムジンのみである。

次に鉄道（JR）であるが、大阪の新幹線が中心部から少し離れた新大阪駅発着なのに対し、東京は都心部の東京駅、品川駅が選択できる。在来線も東京上野ライン整備などで乗換駅が選択できるのに対し、大阪は大阪環状線、阪急、阪神、地下鉄すべての乗り換えが大阪駅1点集中となっている。

このように、選択肢の幅（豊かさ）では、明らかに東京（羽田）に軍配が上がる。

#### 《豊かさは人それぞれ》

しかし、大阪駅で大多数が乗り換えるため、帰宅時は大阪駅で少しでも早めに並べば確実に着席でき、立っていても東京のようなギュウギュウ詰めでもない。大阪駅から電車で30分も乗ると京都駅、三ノ宮駅まで着いてしまい、東京に比べると通勤は「快適」である。最も大きな違いは、住宅価格の差である。東京駅からだと日暮里、品川あたりになるが、大阪駅から電車で10分程度、吹田、茨木あたりのマンションで3千万円台、土地は狭いが戸建ても4千万円台で購入することが可能であり、同じ予算であれば、東京に比べてマイホームに関する「選択の幅」は、はるかに広い。

エスカレーターの左右どちらに立つのかに「豊かさ」の違いはないが、東京出張から戻った新大阪駅のエスカレーターの右側に立ったとき、普段は感じていない大阪の「豊かな社会」を実感するのである。



## IPRA 会長の 10 月のメッセージ ゴールデン・ワールド・アワードと IPRA が策定した PR 新しい定義について

こちらのページでは、協力関係を結んだ世界的な PR の組織である、IPRA のレポートや情報を随時ご案内していきます。

今月は、ゴールデン・ワールド・アワードと IPRA が策定した PR の新しい定義についてふれた、IPRA 会長の 10 月のメッセージをご紹介します。

### ☆ ☆ ☆ ☆ 要約 ☆ ☆ ☆ ☆

エレバン（アルメニア共和国）で開催されたゴールデン・ワールド・アワードでは、5 大陸から PR の専門家が集まり、まさしく世界の PR の才能、創造性、革新性にあふれた機会となりました。そして、ニュースをシェアしていただいた方々にお礼を申し上げます。

今回は PR という仕事は社会で、重役会議で、国境を越えて、そして新たなメディアのチャンネルを通して再定義されていることが見えてきました。グランプリを受賞した電通パブリックリレーションズの仕事はまさしくそうした潮流を象徴する好事例で、PR の現場への新たなニーズを素晴らしい形で実現したものといえるでしょう。企業と市、学校の協力関係を自然に、楽しくつくりあげることで、地域のエコシステムを創出する取り組みでした。日本の小林市の持続的な経済成長をつくるキードライバーとなるプログラムとなったのです。

PR の新しい定義…

エレバンでは、IPRA 理事会からのエキサイティングな発表がありました。アワードの審査で見えてきたものを反映し、IPRA 理事会の専門委員会がハードワークの末、私たちの時代に即した新たなパブリックリレーションズの定義を採択したのです。

"Public relations is a decision-making management practice tasked with building relationships and interests between organisations and their publics based on the delivery of information through trusted and ethical communication methods."

ご参考：PRSJ 事務局の試訳

パブリックリレーションズは、信頼できる、倫理的なコミュニケーション手法を通して情報を提供することにより、組織と組織をとりまくパブリックとの間に、関係構築と相互利益を築くため導く、意思決定の管理マネジメントを実践することである。

The IPRA flavour to the definition is the last phrase – through trusted and ethical communication methods. This phrase turns an operational definition into a powerful definition saying how PR should be done. It reflects the expanded mandate of our profession which must today address the strategic issues and values of the organization. If PR is to do this then it must engender trust and ethics.

IPRA の定義の肝は最後のフレーズ、through trusted and ethical communication methods というところにあります。ここに PR がやらなければいけないことが強調されています。そして PR の専門家が組織の 이슈や価値を戦略的に展開していこうとするときに、やらなければならない

いことが多くなっているということを示しています。PR がこのようになされていけば、信頼と倫理感を創出していくことになるのです。

この定義について、広くみなさん対話を重ねていきたいと思います。すでにいくつかの肯定的なフィードバックもいただいています。ぜひ、みなさんの国の言葉で翻訳し、私共の LinkedIn Group でのディスカッションに参加してください。

**Svetlana Stavreva**  
President 2019

☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆ ☆

## ■ Message from the IPRA President:

### Time to reflect: October 2019



Almost a month ago IPRA's Golden World Awards Gala in Yerevan hosted PR experts from five continents becoming a true celebration of the world's PR talent, creativity and innovation. Thank you to all of you who were there! Thank you also to all of you who were virtually with us sharing and re-sharing the news. It resonated globally! I hope next time we meet in person.

The event was a reflection of how the role of the PR profession is being redefined in society, within company board rooms, across borders and via new media channels. The 2019 GWA Grand Prix awarded to Japan's Dentsu PR set a fine example on how to manage the new demands on PR practitioners with grace and excellence. They designed a campaign that made a cooperation between businesses, public authorities and schools natural, easy and fun thus creating a vibrant local ecosystem. This programme was a key driver supporting the sustainable economic development of the Japanese city of Kobayashi.

## A new definition of PR...

Also in Yerevan was an exciting outcome from our Board meeting. Reflecting everything we saw during this year's GWA judging, and importantly the hard work of a committee of IPRA Board members, we have adopted a new definition of public relations fit for the time we live in:

**"Public relations is a decision-making management practice tasked with building relationships and interests between organisations and their publics based on the delivery of information through trusted and ethical communication methods."**

The IPRA flavour to the definition is the last phrase - **through trusted and ethical communication methods**. This phrase turns an operational definition into a powerful definition saying how PR should be done. It reflects the expanded mandate of our profession which must today address the strategic issues and values of the organization. If PR is to do this then it must engender trust and ethics.

## ...What do you think?

We offer this definition as an invitation for a dialogue on the way forward for our profession. The initial feedback we have received is exciting and positive. Thank you! The definition has already been translated into Japanese and Farsi. Do you want to help translate it into your language? Please let us know and we will add your acknowledged translation to our web site. Join the discussion here or on our [LinkedIn Group](#)

**Svetlana Stavreva**  
President 2019





## PRSJ in Media

### ● 11月1日（金） 『月刊広報会議』12月号

『月刊広報会議』12月号における当協会のコラムにおいて関西支部が7月24日に開催した「広報夏季講座」について掲載されました。

コラムでは、本講座のテーマが映像（テレビ）、SNS（ネット）、活字（新聞）の3つのメディアを扱う「3大メディア大研究」であることにまず触れています。

そして第一講座では毎日放送の村上嘉章コンプライアンス室広報部次長が「番組制作の舞台裏～情報番組からドラマまで」、第二講座ではTMオフィス代表取締役の殿村美樹氏が「SNSの光と影～ネット広報の威力と怖さ」、第三講座では日本経済新聞大阪本社 社会部長の雨宮義敬氏が「変わるメディア、変わらぬ取材」をテーマとして行った講義について、それぞれの要旨とともに紹介されています。

### ■『広報・マスコミハンドブック（PR手帳）2020年版』の刊行プレスリリース

協会では、さる11月22日（金）、『広報・マスコミハンドブック（PR手帳）2020年版』の刊行について、プレスリリースしました。

以下は、サイトにおけるリリースの掲載です。

- (株)共同通信社運営 KK KYODO NEWS SITE <企業・商品ニュース>

[https://www.kyodo.co.jp/release-news/2019-11-28\\_2393891/](https://www.kyodo.co.jp/release-news/2019-11-28_2393891/)

- (株)共同通信社運営 OVO <ビジネス>

<https://ovo.kyodo.co.jp/channel/business>

- (株)共同通信社運営 b-dot <ビジネス>

[https://b.kyodo.co.jp/business/2019-11-28\\_5714246/](https://b.kyodo.co.jp/business/2019-11-28_5714246/)

- (社)共同通信社 47NEWS <経済→ビジネス>

<https://www.47news.jp/economics/b-dot/4261622.html>

- excite ニュース

[https://www.excite.co.jp/news/article/Ovo\\_1379883/](https://www.excite.co.jp/news/article/Ovo_1379883/)

- BIGLOBE ニュース

[https://news.biglobe.ne.jp/trend/1128/ovo\\_191128\\_8476534141.html](https://news.biglobe.ne.jp/trend/1128/ovo_191128_8476534141.html)

- mixi ニュース

[https://news.mixi.jp/view\\_news.pl?id=5882154&media\\_id=201](https://news.mixi.jp/view_news.pl?id=5882154&media_id=201)

- 楽天 infoseek ニュース

[https://news.infoseek.co.jp/article/ovo\\_O1379883/](https://news.infoseek.co.jp/article/ovo_O1379883/)

- Ameba ニュース

<https://news.ameba.jp/entry/20191128-741/>

- GIGA PARK

[http://www.giga.co.jp/jsp/artist/news\\_gp.jsp?index=ovo\\_news&key=O1379883&aid=](http://www.giga.co.jp/jsp/artist/news_gp.jsp?index=ovo_news&key=O1379883&aid=)

- ニコニコニュース

[https://news.nicovideo.jp/watch/nw6231846?news\\_ref=media397\\_media397](https://news.nicovideo.jp/watch/nw6231846?news_ref=media397_media397)

（事務局・真部）

〔記事協力 株式会社内外切抜通信社〕

### 編集担当より

本誌の内容に関するご意見・ご希望をお寄せください。  
中身の濃い会員誌に育てていきたいと思っておりますので、  
よろしくお願い致します。

### 広報委員会

Eメール      mail@prsj.or.jp

F A X        03-5413-2147

※ 禁転載